

平成30年度旭川市病院事業会計決算の概要

平成30年度決算は、1人当たりの診療単価が増えたことなどにより、入院収益、外来収益ともに前年度を上回りました。最終的な病院の損益を示す純損益も前年度に続き黒字となりました。

資金面においては、単年度資金収支では1億1千317万3千円の赤字ではあるものの、前年度から赤字額を5億1千564万1千円圧縮することができました。一方で、企業債の償還金の負担が重く、資金残高はマイナス7億9千562万2千円となり、資金不足比額は増加してしまいました。

このような状況を受け、企業債の借換えによる償還の平準化や電気供給契約の入札実施による経費削減などに取り組むとともに、救急車受入れの徹底や新たな診療報酬の加算の取得など、今年度行った取組を継続しながら経営改善に努め、市立病院として市民に求められる役割を果たしてまいります。

1 平成30年度決算の内容

(1) 患者数

(単位：人)

区 分		予 算 a	決 算 b	増 減 b-a
入 院	延べ患者数	122,275	121,553	-722
	1日平均患者数	335.0	333.0	-2.0
外 来	延べ患者数	239,112	237,618	-1,494
	1日平均患者数	984.0	977.9	-6.1

(2) 収益的収入・支出（税込）

(単位：千円)

項 目	予 算 a	決 算 b	執行率 b/a(%)	備 考
病院事業収益	12,101,171	11,996,373	99.1	
医業収益	10,209,770	10,108,608	99.0	
入院	6,783,183	6,766,241	99.8	
外来	3,195,568	3,125,802	97.8	江丹別診療所を含む
その他	231,019	216,565	93.7	
医業外収益	1,373,614	1,381,661	100.6	一般会計負担金を含む
特別利益	517,787	506,104	97.7	
病院事業費用	11,707,209	11,355,101	97.0	
医業費用	11,371,023	11,027,215	97.0	江丹別診療所を含む
医業外費用	332,185	327,882	98.7	
特別損失	1	4	400.0	
予備費	4,000	0	0.0	

(3) 資本的收入・支出（税込）

（単位：千円）

項目	予算 a	決算 b	執行率 b/a(%)	備考
資本的收入	10,583,302	10,561,574	99.8	
企業債	9,739,700	9,733,100	99.9	
補助金	15,595	10,767	69.0	
一般会計負担金	828,007	817,707	98.8	
資本的支出	11,185,584	11,153,302	99.7	
建設改良費	233,053	204,085	87.6	
企業債償還金	10,951,531	10,949,217	100.0	
予備費	1,000	0	0.0	

2 財務諸表

(1) 損益計算書

1年間の企業活動の経営成績を表します

（単位：千円）

事業年度 項目	平成29年度 a	平成30年度 b	増減 b-a
医業収益	9,685,503	10,090,956	405,453
医業外収益	1,281,998	1,376,019	94,021
特別利益	453,220	506,104	52,884
収益計(ア)	11,420,721	11,973,079	552,358
医業費用	10,869,695	10,890,963	21,268
医業外費用	461,809	441,057	-20,752
特別損失	527	4	-523
費用計(イ)	11,332,031	11,332,024	-7
損益(ア)-(イ)	88,690	641,055	552,365

(2) 貸借対照表

年度末における財産の状態を表します。

(単位：千円)

事業年度	平成29年度	平成30年度	増減
項目	a	b	b-a
資産	10,380,189	10,590,099	209,910
固定資産	8,368,776	8,754,136	385,360
流動資産	2,011,413	1,835,963	-175,450
うち現金預金	20,786	11,988	-8,798
負債	16,957,687	16,526,542	-431,145
固定負債	12,261,929	12,378,907	116,978
流動負債	4,005,957	3,524,628	-481,329
繰延収益	689,801	623,007	-66,794
資本	-6,577,498	-5,936,443	641,055
資本金	9,925,406	9,925,406	0
剰余金	-16,502,904	-15,861,849	641,055
うち利益剰余金	-16,502,904	-15,861,849	641,055

3 経営状況（主な財務指標）

(1) 損益

損益計算 平成30年度純損益 +6億4千105万5千円

平成29年度の純利益8千869万円から、平成30年度は6億4千105万5千円の純利益を生じており、引き続き黒字となりました。

(2) 資金収支・資金残高

資金収支計算 平成30年度収支 1億1千317万3千円収支不足

資金残高（マイナスは不足） 平成30年度末残高 -7億9千562万2千円

資金残高は、流動資産と流動負債（企業債を除く）の差で表され、現在当院は資金不足が発生している状況です。資金収支は、前年度と今年度の資金残高の増減で実質的な収支状況を表します。

(3) 資金不足比率

資金不足比率は、資金不足の状況を表し、次の式で算出されます。当院においては、平成29年度から資金不足比率を計上することとなりました。

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}} = \frac{795,622 \text{千円}}{10,262,358 \text{千円}} = 7.7\%$$

(医業収益額)